

平成22年 9月10日 (金曜日)

町長と東京藝大院生が

まちづくり意見交換

ステンドグラス・陶板を中心としたパブリックアートの制作工房として1981年に熱海市泉に開設された「クレアーレ熱海ゆがわら工房」において、来る十三日(月)から十七日(金)までの五日間、東京藝大大学院の壁画研究室の学生十名が訪られ

工房スタッフと共にパブリックアートを制作する実習ゼミが行われるが、ゼミ最終日に学生と富田幸宏町長などによる湯河原まちづくり意見交換会が行われることになった。このゼミは、正式な授業として導入する前の試験的なプレ実習ゼミとして行われるもので、同工房がパブリックアートとして設置予定のステンドグラス、陶板作品の制作工程の一部を工房スタッフとともに制作する。また、学生らは期間中、山本一郎氏・渡邊宗男氏の好意により「ふきや」「川堰苑いすゞホテル」のお風呂に招待され湯河原の温泉を体験していただくことになっており、最終日にこの温泉の体験と工房での実習ゼミを踏まえ意見交換会が行われる